

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2026年

SPRING 春

第221号

白石城「甲冑体験」



2～5P 2月定例会の概要・審議した議案
6～7P 予算審査特別委員会

8～13P 市政に対する代表質問・一般質問(11人)
14P 人事・議会の活動状況・編集後記

議会を傍聴しませんか？

6月定例会は、6月15日(月)午前10時開会予定です



インターネット中継



傍聴のしかた

2月定例会 令和8年度一般会計当初予算 210億6674万7千円を可決

令和8年2月定例会は、2月13日から3月6日までの22日間の日程で開催されました。

定例会初日、市長提出議案は、報告1件、専決2件、条例他22件、人事2件、予算15件の計42件でした。市長の施政方針を受け、その後全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案第1号から議案第6号は採決の結果、全会一致で同意・承認・可決しました。

代表質問および一般質問は、2月18日・19日・20日の3日間で、11人の議員が質問を行いました。5日目(2月24日)、議案第7号から議案第41号までの質疑が行われ、令和8年度当初予算の7議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案は表決まで行われ、このうち議案第19号・白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例については採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決、また議案第34号・令和7年度白石市病院事業会計補正予算(第2号)については修正動議の提出がなされ、質疑の後、反対の討論があり、採決の結果、修正案については賛成少数で否決、原案は賛成多数で可決しました。残る議案については全会一致で原案のとおり可決しました。

定例会最終日(3月6日)の本会議において、予算審査特別委員会に審査が付託された令和8年度当初予算(議案第35号から議案第41号)の7議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決されました。

また最終日に、市長提出議案1件(議案第42号)が追加提案され、質疑の後、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。同日、議員提出議案1件が上程され、全会一致で原案のとおり可決されました。



市長の提案理由説明

条例等

◎白石市国民健康保険税
条例の一部を改正する
条例

審議した議案の主なものは 全化を図るため、国民健康保険税率の改定が必要なることから、条例の一部を改正するもの、**〔質疑〕**現在の滞納率と引き上げによる影響をどのように分析しているのか。

〔答弁〕国民健康保険税額が引き上げられた結果、加入者の生活に影響して収納率が下がることが考えられるが、国

将来的な宮城県国民健康保険料水準の統一化を見据えつつ、国民健康保険財政の健全化を図るため、国民健康保険税率の改定が必要なることから、条例の一部を改正するもの、**〔質疑〕**現在の滞納率と引き上げによる影響をどのように分析しているのか。

2月の定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
報告第1号	損害賠償額の決定及び和解について	報告
議案第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第3号	専決処分承認を求めるとして(専決第14号)	承認
議案第4号	令和7年度白石市一般会計補正予算(令和7年度白石市一般会計補正予算)	承認
議案第5号	専決処分の承認を求めるとして(専決第1号)	承認
議案第6号	令和7年度白石市一般会計補正予算(第6号)	承認
議案第7号	旧白石市いきいきプラザ解体工事請負契約の締結について	原案可決
議案第8号	白石市学校給食センター整備運営配送事業に係る契約の変更について	原案可決
議案第9号	財産の取得について	原案可決
議案第10号	白石市立幼稚園の教育職員の給与に関する特別措置に関する条例	原案可決
議案第11号	白石市総合計画審議会条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	白石市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	白石市道路占用料条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	白石市公共物管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第16号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第17号	白石市材木岩公園等設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第18号	白石市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第19号	白石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決

民健康保険の意義や、財政状況、健康づくりなど制度の周知に努めるとともに、これまで同様に収納対策を厳格化することが、税の公平性の確保と、安定した国保運営に欠かせないものであると認識している。

◎白石市消防団員に関する条例の一部を改正する条例

近年、地震や台風による風水害などの自然災害が激甚化・頻発化する中、地域防災の要である消防団員の処遇改善を図るため、出動に係る報酬額の見直しを行う必要があることから、条例の一部を改正するもの。

【質疑】特別報酬の見直しに伴う動力ポンプおよび積載自動車機関員への技術報酬の削除に至った経緯は。

【答弁】今回の報酬改定を契機に、動力ポンプおよび積載自動車の機関員への技術報酬を廃止して、各分団の班長だけでなく班員全員で機械器具等の管理を行うようにしたものを。

討論(要約)

◎議案第19号白石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

以上の理由から議案第19号に反対である。

反対 伊藤 勝美

国民健康保険は本来、所得の低い方や自営業者、非正規雇用の方々の命を守る最後の砦であるが、その保険税が高過ぎて払えないという、本末転倒な事態が起きている。

賛成 大内 卓也

今回の税率改正は、第三次宮城県国民健康保険運営方針で示された令和12年度の県内保険料の完全統一を見据え、財政健全化方針20を基に答申されたものである。

本市の国民健康保険財政は、国民健康保険税収入の不足分を財政調整基金の繰り入れによって補い維持されている。現行税率を維持した場合、基金残高は令和8年度末には約1億7千万円、令和9年度末には約9千万円まで減少する見込みで、国民健康保険事業の安定的な運営が困難となる恐れがある。急激な負担増加を避けながら国民健康保険財政の健全性を維持するには、税率の見直しは避けられない。

今回の改正による保険税額の引き上げとなれば、収納率の低下や、納めたくても納められない被保険者に対し、督促のみならず差し押さえなどの対策強化がとられることも危惧される。

以上の理由から議案第19号に賛成である。

議案第20号	白石市消防団員に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第21号	白石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第22号	白石市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第23号	白石市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第24号	白石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第25号	白石市米寿祝金支給条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第26号	白石市道路線の廃止について	原案可決
議案第27号	白石市道路線の認定について	原案可決
議案第28号	令和7年度白石市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第29号	令和7年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第30号	令和7年度白石市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第31号	令和7年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第32号	令和7年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第33号	令和7年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第34号	令和7年度白石市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第35号	令和8年度白石市一般会計予算	原案可決
議案第36号	令和8年度白石市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第37号	令和8年度白石市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第38号	令和8年度白石市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第39号	令和8年度白石市水道事業会計予算	原案可決
議案第40号	令和8年度白石市下水道事業会計予算	原案可決
議案第41号	令和8年度白石市病院事業会計予算	原案可決
議案第42号	令和8年度白石市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議提第1号	宮城県仙南・仙塩広域水道の負担割合見直しを求める意見書	原案可決

議員提案

第475回 市議会定例会(2月24日) 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			角張大治	村上由紀	佐藤龍彦	高子秀明	伊藤勝美	澁谷政義	沼倉啓介	大森貴之	佐久間儀郎	佐久間順子	大内卓也	角張一郎	佐藤秀行	松野久郎	四竈英夫	小川正人
議案第19号 白石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	
議案第34号 令和7年度白石市病院事業会計補正予算(第2号)【修正案】	否決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	議	×	×	
議案第34号 令和7年度白石市病院事業会計補正予算(第2号)【原案】	原案可決	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

予算

◎令和7年度白石市一般会計補正予算(第7号)

1億8798万円を増額し、予算総額を210億8624万9千円とする。

○地域防災緊急整備事業

5506万1千円

【質疑】地球未来交付金を活用し、避難生活環境の向上を図ることだが、購入予定の各備品の数量や保管場所など、想定している活用場面は。

【答弁】購入する備品は、全指定避難所および道の駅でラック式簡易トイレ一式を1箇所あたり1セット、さらに全指定避難所にスポットクーラー、赤外線暖房機、電源確保のためのソーラーパネル付きポータブル電源を計上している。

保管場所は今年度整備する防災用備品備蓄倉庫へ保管し、日常でも利用できる備品は日頃から利用していく。

◎令和7年度白石市病院事業会計補正予算(第2号)

公立刈田総合病院は、令和5年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を医療法人仁誠会に委託しているが、物価高騰等により委託費や光熱費が増加傾向にある。また政策医療として発達支援外来を実施するなど地域に貢献している一方で採算が取れない部分もあり、令和8年度以降の指定管理者委託料を増額し、増額分の債務負担行為について設定するもの。

【債務負担行為】

●指定管理者委託料

〔期〕令和8年度～14年度
〔限度額〕5億6千万円

◎令和7年度白石市病院事業会計補正予算(第2号) (修正案) 否決

7人の議員から、市長提出議案「令和7年度白石市病院事業会計補正予算(第2号)」に対する修正案が提出され

た。

修正理由として、医療法人仁誠会への支援の在り方と手続きの手順について慎重な検討が必要であり、債務負担行為の期間を令和8年度の1年間、限度額を8千万円へ改める旨の趣旨説明があった。採決の結果、賛成少数で否決された。



議案の修正(修正動議)とは？

定例会・臨時会では、市長から議案(条例・予算など)が提出され、本会議などで審査し議決を行うが、議員は議案の内容に対し、必要に応じてその議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を発議することができる。

当初予算

◎令和8年度白石市一般
会計予算

210億6674万7千円

(前年度比9.6%増)

【主な事業】

○大学院大学設置支援事業
補助金 3500万円

○老人福祉センター運営委託
事業

1億6136万6千円

○障害福祉サービス給付事業

7億9617万3千円

○乳児等通園支援事業

1億1038万3千円

○P4C推進事業

415万1千円

○予防接種事業

1億4991万7千円

○森林経営管理推進事業

3447万1千円

○地域おこし協力隊支援事業

1100万円

○スマートインターチェンジ
整備事業

10億6394万3千円

○道の駅整備事業

30億6832万2千円

総括質疑

【質疑】令和8年度の予算編成に当たり、どのような編成方針に基づき編成したのか。

【答弁】第六次白石市総合計画におけるまちづくりの課題に対し、限られた財源を重点

的・効率的に配分しながら、市

民福祉の向上を図るべく各種施策を推進していくことを掲げている。この基本的な考え方に基づき、急激な少子高齢化と人口減少に立ち向かい、白石市を将来にわたって持続可能なまちとなるよう意識して予算編成を行なった。

債現在残高見込額と過去5年の推移、債務負担行為の当該年度以降の支出予定額と過去5年の推移および自主財源比率を踏まえ、令和8年度一般会計予算の財政運営の見解は。

【質疑】令和8年度末の地方

5年間の決算ベースで103億円台から108億円台と概

ね横ばいで推移しているが、令和8年度当初予算書作成時点における令和7年度末の現在高は約114億円、令和8年度末の現在高は約124億円と増加を見込んでいる。また債務負担行為の当該年度以降の支出予定額は、令和2年度から令和4年度までは、24億円台から34億円台で推移していたが、令和5年度からは100億円に近い額となった。この主な要因は、PFIによる道の駅・防災公園整備運営事業が影響しているが、本市の財政課題を克服するための投資と位置付けている。

今後、市民生活の向上につながる事業を実施する場合には、費用負担の平準化や安定した市民サービス確保に地方債や債務負担行為は効果的だが、補助金や交付税措置を考慮した地方債の発行、本市の取り組みを応援していただける民間活力の活用などを通じて、過度な財政負担にならないよう注意を払いながら、持続可能な財政運営につなげていきたい。

令和8年度 一般会計予算

(単位：千円・%)

歳 出		予 算 額	構 成 比
1. 議 会 費		163,631	0.78
2. 総 務 費		2,712,134	12.88
3. 民 生 費		5,954,107	28.26
4. 衛 生 費		1,878,841	8.92
5. 労 働 費		2,817	0.01
6. 農 林 水 産 業 費		350,300	1.66
7. 商 工 費		607,219	2.88
8. 土 木 費		5,679,713	26.96
9. 消 防 費		626,577	2.98
10. 教 育 費		1,586,957	7.53
11. 災 害 復 旧 費		4,631	0.02
12. 公 債 費		1,484,098	7.05
13. 予 備 費		15,722	0.07
合 計		21,066,747	

令和8年度 各会計予算

(単位：千円・%)

会 計 別	令和8年度予算額	令和7年度予算額	令和7年度当初予算比	
一 般 会 計	21,066,747	19,217,307	9.6	
特 別 会 計	8,257,846	8,257,208	0.0	
会 計 内 訳	国民健康保険	3,628,862	3,686,498	△1.6
	介護保険	4,051,596	4,048,795	0.1
	後期高齢者医療	577,388	521,915	10.6
企 業 会 計	29,324,593	27,474,515	6.7	

企業会計

水 道 事 業 会 計	1,412,682	1,222,099	15.6
下 水 道 事 業 会 計	1,836,435	2,008,964	△8.6
病 院 事 業 会 計	1,343,643	1,358,997	△1.1

※企業会計については収益的支出+資本的支出の額

予算審査特別委員会

議案第35号・令和8年度白石市一般会計予算から議案第41号・令和8年度白石市病院事業会計予算までの計7議案について、定例会5日目(2月24日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・四籠英夫、副委員長・澁谷政義)は、3月3日、4日の2日間にわたり審査を行い、全ての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般会計

総務費

◎大学院大学設置支援事業

【質疑】計画変更や事業中止となった場合のリスク分担について、契約書等で規定されているのか。

【答弁】土地の無償貸付、建物の無償譲渡の契約において、令和10年4月1日までに大学院大学を供用できないとき、または開学後に事業を中止した場合は、建物を法人側で取り壊して、土地を市に返還す

ることを原則としている。

また補助金の交付条件として、令和10年4月1日までの開学および一定期間の事業継続などを求め、条件に違反した場合の返還規定を設ける。

民生費

◎いきいき高齢者温泉入浴助成事業

【質疑】事業の詳細は。

【答弁】対象施設は日帰り温泉入浴を実施している市内温泉施設4件を予定している。利用方法は70歳以上の方が「ほっときゃつするパス」を提示

すると、日帰り入浴料金から200円を割り引いた額で利用できる。利用可能な日時は、市の広報、ホームページ、公式ラインなどで周知していく。

◎乳児等通園支援事業

【質疑】事業の詳細は。

【答弁】実施施設は白石市第二幼稚園で、令和8年4月1日から開始する。利用方法は園で整備した「こども誰でも通園制度総合支援システム」により手続きを行い、利用料は1時間当たり300円としている。周知方法は市ホームページ、広報のほか、新生児訪問や乳幼児健診の際に広報物配付を予定している。

衛生費

◎予防接種事業

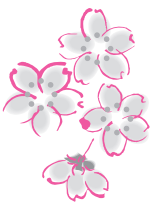
【質疑】予防接種法に基づく定期接種に「RSウイルス母子免疫ワクチン」と「高齢者高用量インフルエンザワクチン」が

追加されたが、各ワクチンの詳細等は。

【答弁】令和8年4月から定期接種になる予防接種である。RSウイルス母子免疫ワクチンは、妊娠28週から36週の妊婦に接種することで、乳幼児に多いRSウイルス感染症を予防するためのワクチンである。予防票は母子手帳交付時に配付し、妊婦検診を行なっている医療機関などで接種する。

高用量インフルエンザワクチンは、従来のワクチンよりも予防効果が高く、75歳以上の希望者を対象に高用量インフルエンザワクチンまたは標準量インフルエンザワクチンのどちらかを選択することができる。接種は今まで同様にかかりつけの医療機関で接種できる。

両ワクチン共に副反応は接種部位の痛みや筋肉痛などが見られるが、多くは3日程度で自然に治る。



農林水産業費

◎農業振興地域整備計画策定事業

【質疑】農業地域整備計画見直しおよび委託先の詳細は。

【答弁】農業振興地域整備計画は農業振興地域の整備に関する法律に基づく計画で、令和8年度は農用地面積、土地利用、農業就業人口・規模、農用地の保全・利用、農業就業者育成・確保、農業従事者の農業以外就業状況などの調査を予定しており、その結果を踏まえて基礎資料を作成しようとするもの。委託先は公募により選定したいと考えている。

商工観光費

◎観光宣伝事業

【質疑】令和8年度におけるターゲット層および本市への誘客につなげる具体的な取り組み内容は。

【答弁】これまでの取り組みや

つながりを大事にし、台湾やシンガポールから、白石城を中心としたサムライ文化のほか、桜や紅葉、雪などの自然やサイクリングなどのアクティビティを目的とした誘客に取り組んでいきたい。

また、白石市観光大使「佐藤三兄弟」の協力による誘客施策も検討していきたいと考えている。

土木費

◎公園施設長寿命化対策工事

【質疑】改修工事のスケジュールおよび利用できない期間が発生するのか、その場合の対応は。

【答弁】工事期間は公園ごとに4カ月程度、利用者が減少する秋以降の実施を予定している。また、トイレを除く範囲を立ち入り禁止とする予定である。

各公園の工事期間が決まり次第、事前に近隣自治会や小学校、保育園等へ周知を行う

とともに、市公式ホームページや現場においても知らせていく。

教育費

◎地区公民館運営事業

【質疑】公民館指定管理者委託料の増額理由および地区への効果は。

【答弁】事務局員人員を1.5人体制から2人体制に見直すよう要望書があり、今回の増額はその人員増に見合った賃金や社会保険料相当額を積み上げたものである。

地区によって状況や課題はさまざまだが、この増額分ですべてに充てるなど、地区の目指すところに応じて計画を立てていきたい。各地区それぞれの独自性を尊重し、これまで以上に自分たちの地区をどのようにしていくのかを考える契機になることを期待している。

特別会計

国民健康保険事業

【質疑】宮城県が国民健康保険料(税)水準の統一としている令和12年までに、再度税率の値上げはあるのか、今後の見通しの認識は。

【答弁】将来の税率は、今後の基金残高や医療費の動向に加え、国・県からの公費負担、県が示す納付金や標準保険料率、被保険者の所得状況、令和12年度の保険料水準の統一を見据えた県の動向等を総合的に勘案し、慎重に議論を重ねていくこととしている。

市は令和6年10月に策定した「白石市国民健康保険財政の健全化に向けた方針2.0」に基づき、今後も持続可能な国民健康保険財政の運営に努めていく。

公営企業会計

水道事業

【質疑】他市町の基本料金より

高くなった経緯は。

【答弁】仙南・仙塩・広域水道は8市9町合計17市町で構成されている。基本料金は昭和63年8月に定めた最終水量を基準に算定したもので、「当時の計画水量」に基づき負担割合が設定され、現在の需給水量とは大きく乖離し、受水市町ごとに負担の公平性が損なわれている要因となっている。

た取り組みを進めているが、広域水道の受水費は大きな負担となっている。

意見書

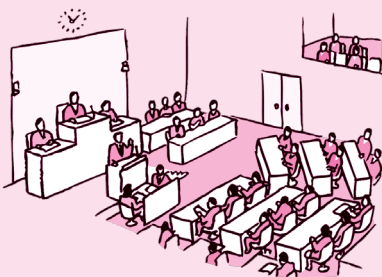
定例会最終日(3月6日)、議員提案として次の意見書が上程された。採決の結果、全会一致で可決され、意見書は関係機関に提出された。

◎宮城県南・仙塩・広域水道の負担割合見直しを求める意見書(概要)

水道事業は人口減少に伴い料金収益が減少する一方、施設の維持管理費は増大し、厳しい事業運営が続いている。本市は持続的な事業運営に向け

基本料金は昭和63年に算定したものに、基づき負担割合が設定され、現在に至るまで据え置かれているため、現在の需給水量とは大きく乖離した状態に即さないものとなり、同じ広域水道を利用しながら市町ごとに公平性が損なわれている要因となっている。本市は次の時代に向けた「新しい計画水量」による負担に移行するべきと考える。

よって、各受水市町の使用実態を適切に反映し、負担の公平性が確保される料金体系を構築することなど三つの項目の実施について、意見書を提出するものである。



市政に代表質問 対する一般質問

11人の議員が質問

2月定例会の代表質問・一般質問は、2月18日・19日・20日の3日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

〔代表質問〕

角張 一郎 令和8年度施政方針について

高子 秀明 令和8年度施政方針について

〔一般質問〕

佐藤 秀行 伝統的工芸品の後継者育成について

佐藤 龍彦 地域医療について

佐久間 儀郎 中山間地域における里山・農地管理とクマ対策について

四竈 英夫 本市農業の現状と今後の展望について

大内 卓也 東北楽天ゴルフデンイーグルス二軍拠点移転について

伊藤 勝美 自治会の課題と改善策について

角張 大治 公立刈田綜合病院財政検証と病院経営・保険財政関係について

大森 貴之 各種緊急事態発生時の市役所職員体制構築について

村上 由紀 「選ばれ、住み続けられる白石市」への政策について

令和8年度施政方針について

角張 一郎



〔質問〕現在抱えている市政課題の認識を伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市にとって最大の課題は、少子高齢化と人口減少である。これからは人口減少を正面から受け止め、人口が減っても活力ある白石市をつくっていくかなければならない。

〔質問〕保育料および保

育園・認定こども園・幼稚園の副食費の無償化、小学校の学校給食費の完全無償化を決定した思いを伺う。

〔答弁〕〔市長〕急激な少子高齢化が進む中、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して働

〔質問〕今後の企業誘致活動について伺う。

の開発を行うデベロッパーや不動産事業者、金融機関など、多様な関係機関との連携を強化し、企業情報の収集や紹介ルートの拡充を重点的に進めている。工業団地に関心を示す企業は着実に増加しており、一定の手応えを感じている。

引き続き私自身が先頭に立ち、一日も早い企業誘致実現に取り組んでいく。

〔質問〕「選ばれるまち」になるための施策について伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市の特性を生かし、他の自治体にはない魅力的な施策が必要である。現在、先進的な取り組みを行っている自治体の例や、民間企業との連携について研究を進めている。

白石市を持続可能なまちにするための実効性の高い大胆な施策を展開していく。

令和8年度施政方針について

高子 秀明



同年6月から本運行を開始し、新たな地域内移動サービスのモデルとして期待されている。

市は小原地域内交通運営委員会に職員を参加させ支援している。現在白川地区でも住民主体の地域内交通導入に向け実証実験を計画しており、買い物支援の移動サービス構築を目指している。令和8年度から策定する次期地域公共交通計画では、移動実態と市民ニーズを踏まえ、市全域の公共交通の在り方と住民主体の補完的モデル構築を検討していく。

〔質問〕住民主体の地域内交通事業について、山間地域などの住民主体の地域内交通事業は、その「持続性」と「行政の関わり方」が重要である。現在の取り組みを長期的に継続し、さらに他地域へ展開を見据えるなら「人と地域が輝く未来共創交付金交付のほか、どのような支援策でモデル構築するか将来的な展望を伺う。

〔質問〕施政方針の中で「国全体の人口がさらに急激に減少していく中において、本市

だけが人口を増やし続けるということとは現実的ではありません」と「白石市を選ばれるまちにするため」の両記述は一見相反する意味合いに思えるが、整合性を持たせつつ本来の意図を伺う。

〔答弁〕〔市長〕全国的な人口減少の中で、本市だけが増え続けるのは難しいという認識は市民に共有されている。何もしなければ人口減少に加え高齢化が進み、若年層が住めなくなり社会基盤が維持できなくなるため、人口減少下でも白石市を持続可能なまちにするには若い世代が必要である。政府も地方創生2.0において若者女性に選ばれる地域づくりを重視しているように、人口減少を踏まえ白石市を選ばれるまちにする必要があると考えている。

〔質問〕施政方針の中で「国全体の人口がさらに急激に減少していく中において、本市

伝統工芸品の後継者育成について

佐藤 秀行



観光客受け入れ体制の強化を図るとともにSNS等を活用し、作品の魅力や工人の技術、制作風景などの情報を発信し、ブランドイメージの確立を図っていききたい。

〔質問〕今後地域おこし協力隊制度を活用していく場合、どのようなプロセスを経て進めていくのか、現時点でのスケジュールについて伺う。

◎本市の教育について
〔質問〕令和7年度から全小・中学校で導入した「チーム担任制」について、どのようなメリット、効果があるのか伺う。
〔答弁〕〔教育長〕子どもたちは、自分の良さや可能性を多角的にとらえた指導を受けられること。教員にとっては、子どもを多面的にとらえ、寄り添った指導ができること。また、教員の精神的な負担の軽減につながるなど、効果が挙げられる。

〔質問〕今後について、「チーム担任制」をどのように進めていく考えなのか伺う。
〔答弁〕〔教育長〕これまで行なってきた取り組みの成果や課題を整理し、児童・生徒、保護者の声をふまえ、より充実した内容で実施できるよう検討している段階である。

〔質問〕伝統的工芸品である弥治郎こけしの後継者育成に、地域おこし協力隊制度を活用することについて、市としての見解を伺う。
〔答弁〕〔商工観光課長〕この制度は、全国から意欲ある人材を任用できるメリットがある。他自治体でも取り組み事例があり、今後積極的に活用していきたい。
〔質問〕弥治郎こけしを生かした地域振興策、例えば観光振興や地域ブランド化など、今後の方向性について伺う。
〔答弁〕〔市長〕後継者育成の取り組みを継続し、

地域医療について

佐藤 龍彦



〔質問〕昨年12月の仙南医療圏地域医療推進協議会で示された、みやぎ県南中核病院の救急医療に要する経費について、本市が負担金を「予算措置できな」とした理由を伺う。

〔答弁〕〔市長〕令和7年12月22日に第2回仙南医療圏地域医療推進協議会が開催され、みやぎ県南中核病院の救急医療に要する経費負担について、同病院を運営するみやぎ県南中核病院企業団を構成する大河原町、柴田町、村田町、角田市と、それ以外の市町の負担割合などに関して、事前の打ち合

病院の救急医療に要する経費負担を、来年度以降求められた場合の対応について伺う。

〔答弁〕〔市長〕仙南医療圏の救急医療については、本市も公立刈田総合病院において応分の負担をしている状況であり、今後仙南医療圏地域医療推進協議会より、負担額を示されたとしても、本市としては負担する考えはない。

〔質問〕本市は今後、地域医療を守っていくために、みやぎ県南中核病院とどのように連携していく考えなのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕今後も連携プランに基づき、公立刈田総合病院の責任を果たし、仙南医療圏における連携を推進し、持続可能な医療提供体制の構築に努めていきたい。

〔その他の質問〕
◎本市の空き家対策について

中山間地域における里山・農地管理とクマ対策について

佐久間 儀郎



〔質問〕クマ出没等の要因をどのように分析しているのか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕人の生活圏で効率よく食物を確保できることを学習した個体は、執着して出没を繰り返す。また住宅・農地に接する山林や管理不足の耕作放棄地などは、移動ルートや隠れる場所になることから、これらがクマ出没の要因であると認識している。

〔質問〕中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度が里山・農地管理を通じてクマ被害の予防的な側面を有しているのか伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕これまで農作物被害防止対策ということで、有害鳥獣全般にわたるさまざまな支援策が示されていたが、人的被害防止も含めた農水の分野においても、新たな中山間地域の事業も、新たなメニューが示されているので、今後、政府により示されていくと認識している。

〔質問〕農政、鳥獣害対策、防災等の関係部署が連携して、両制度を活用した中山間地域の環境管理をどのように進めていくかを伺う。

〔答弁〕〔市長〕多くの地域で過疎化・高齢化が問題となっており、地域の住民の力だけでは十分な対策を行うことが難しい場合も多いのが現状であり、自治体には地域に寄り添って必要な対策を検討し、できるだけ地域の主体的な取り組みを促していくことが求められている。本市は地域計画の見直しにあたり、各地域での話し合いの場を設けていることから、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払制度の周知や、鳥獣対策に関する新たな情報提供も行なっていくたい。なお環境管理を進めるためには、個人や地域での取り組みのほか、国や県から発出される情報を注視し、対策を講じていきたい。

〔その他の質問〕
◎空き家対策の推進について

本市農業の現状と今後の展望について

四電 英夫



可能な方は48人である。
〔質問〕今後の本市農業の方向性を伺う。

〔答弁〕〔市長〕農地の集積・集約化することが課題である。地域での話し合いと共に、農地中間管理機構、農業協同組合、土地改良区、農業委員会等と連携し後押ししていく。

〔質問〕農業経営者の高齢化が進み、後継者不足と耕作面積の減少が進行している。本市では令和6年に農業の地域計画と目標地図を策定し、昨年7月に農家アンケート調査を実施した。その結果今後10年間の農地の管理状況を伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕耕作者本人または後継者が管理可能な方は130人、管理者が未定な方が277人である。
〔質問〕自己管理できない農家の意向を伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕農地の貸借・売買の予定がある方は72人、予定がない方は203人で、提案があればすぐに対応

可能な方は48人である。
〔質問〕今後の本市農業の方向性を伺う。
〔答弁〕〔市長〕農地の集積・集約化することが課題である。地域での話し合いと共に、農地中間管理機構、農業協同組合、土地改良区、農業委員会等と連携し後押ししていく。
〔質問〕農業を維持していくための方策を伺う。
〔答弁〕〔市長〕本市独自の取り組みとして農業振興補助金を創設した。今後5年以上農業経営を継続する場合、農業用機械購入、農業用施設整備が100万円以上のものに對し、補助率2分の1、上限100万円を補助する制度である。
◎白石中学校武道館の設備改善について
〔質問〕白石中学校武道館のトイレ洋式化の要

望があるが考えを伺う。
〔答弁〕〔学校管理課長〕トイレの洋式化については国の補助や地方債等を活用し、順次更新を行なっている。使用頻度、使用状況、利用者数等を勘案して今後検討していく。

〔質問〕空手道用のマットの設置についての考えを伺う。
〔答弁〕〔生涯学習課長〕白石中学校武道館の施設と備品は学校教育のためのものである。本市では授業や部活動で空手道を行なっていないので、空手道用のマットを配備することは難しいと考えている。

〔質問〕暑さ対策の送風設備設置について伺う。
〔答弁〕〔学校管理課長〕令和7年度中に市内全ての指定避難所に防炎備品としてスポットクーラーの配備を予定している。日常的に使用している。問題ないため、各種団体においても教育活動に支障のない範囲で活用いたしたい。

望があるが考えを伺う。
〔答弁〕〔学校管理課長〕トイレの洋式化については国の補助や地方債等を活用し、順次更新を行なっている。使用頻度、使用状況、利用者数等を勘案して今後検討していく。
〔質問〕空手道用のマットの設置についての考えを伺う。
〔答弁〕〔生涯学習課長〕白石中学校武道館の施設と備品は学校教育のためのものである。本市では授業や部活動で空手道を行なっていないので、空手道用のマットを配備することは難しいと考えている。
〔質問〕暑さ対策の送風設備設置について伺う。
〔答弁〕〔学校管理課長〕令和7年度中に市内全ての指定避難所に防炎備品としてスポットクーラーの配備を予定している。日常的に使用している。問題ないため、各種団体においても教育活動に支障のない範囲で活用いたしたい。

東北楽天ゴールデンイーグルス二軍拠点移転について

大内 卓也



致の可能性があるかどうか検討していく。
〔質問〕現段階での候補地はあるか伺う。

〔答弁〕〔市長〕現時点で特定の場所を候補地として決定している状況ではない。検討を進めるにあたり、市内の土地利用状況や交通アクセス、周辺環境等についての条件整理や情報収集を行なっている。

〔質問〕これから本市が楽天野球団へ誘致活動を行なっていく可能性はあるか伺う。
〔答弁〕〔市長〕本市としても大きな関心を持って受けとめている。プロ野球球団の二軍拠点は、地域の知名度向上や交流人口の拡大に加え、スポーツを通じた地域活性化、さらには子どもたちの夢や希望の創出など、大きな意義を有するものと認識している。本市としては、球団側の考えや条件等を直接伺い、県などとの連携の可能性を視野に入れ、今後誘

致の可能性があるかどうか検討していく。
〔質問〕現段階での候補地はあるか伺う。
〔答弁〕〔市長〕現時点で特定の場所を候補地として決定している状況ではない。検討を進めるにあたり、市内の土地利用状況や交通アクセス、周辺環境等についての条件整理や情報収集を行なっている。
〔質問〕本市として楽天野球団に対し、何をアピールしていくのか伺う。
〔答弁〕〔市長〕本市の位置および交通アクセスの優位性が大きなアピールになるものと考えている。本市は東北楽天ゴールデンイーグルスの拠点である仙台市から約50キロメートル、車で1時

間以内に位置しており、一軍と二軍との間における選手の入替えや球団関係者の移動を円滑に行うことが可能な距離である。公式戦を行う場合、選手の移動がしやすい環境が必要になるものと考えており、東北自動車道や東北新幹線白石蔵王駅があり、交通アクセスがすぐれている点は大きな強みになると考えている。二軍拠点としての立地条件をアピールしていきたいと考えている。

間以内に位置しており、一軍と二軍との間における選手の入替えや球団関係者の移動を円滑に行うことが可能な距離である。公式戦を行う場合、選手の移動がしやすい環境が必要になるものと考えており、東北自動車道や東北新幹線白石蔵王駅があり、交通アクセスがすぐれている点は大きな強みになると考えている。二軍拠点としての立地条件をアピールしていきたいと考えている。
〔質問〕これを機としたスポーツでのまちづくりの可能性はあるか伺う。
〔答弁〕〔市長〕東北楽天ゴールデンイーグルスの二軍拠点の移転は、本市にとつて交流人口の拡大や地域活性化などさまざまな効果が期待でき、市の知名度・認知度が向上するまちづくりの好機と捉えている。

自治会の課題と改善策について

伊藤 勝美



〔質問〕自治会長は任意団体の代表であるが役割・責任は何か。また自治会の在り方を市民に

どのように説明しているのか、現状と課題を伺う。

〔答弁〕〔総務課長〕自治会長は、自治会の代表として組織を統括し、地域課題の解決、広報紙の配布など行政との連携、住民間の交流促進を担うリーダーであり、防災防犯活動の推進など、安全・安心な生活環境整備を実現するための重要な役割・責任を担っています。

自治会の在り方については、広報で自治会の活

動内容を含めた加入促進の記事を掲載している。また、自治会連合会との連名によるチラシを転入手続きの際に配布し、自治会活動の紹介や加入の働きかけを行なっている。

課題は、住民の価値観

の多様化、ライフスタイルの変化などにより、本市の自治会加入率は77・6%で減少傾向にあることから、加入者の確保であると認識している。

〔質問〕ごみ出し・ごみ集積所利用の公平性について、現状認識と今後の形成を伺う。

〔答弁〕〔環境課長〕市内の集積所は、各自治会のルールにより設置および維持管理をしており、自治会加入の有無にかかわらず、市民が排出するごみの回収は行政責

任である。市内の集積所は現在996カ所あり、市が維持管理することは現実的に困難である。今後も設置や修繕に係る支援などを行いながら各自治会に維持管理をお願いしたい。

集積所の利用については「自治会未加入だと利用できない」という相談もあるが、逆に「未加入者の利用やマナー」についての相談も寄せられている。市としては、基本的に集積所を等しく利用いただきたいと考えている。

まずは自治会への加入、もしくは未加入であっても清掃活動への参加や管理経費などの負担など、集積所の利用に向け未加入世帯と自治会で話し合われることをお願いしている。

その他の質問

◎空き地の適正管理について

◎防犯カメラについて

公立刈田綜合病院財政検証と病院経営・保険財政関係について

角張 大治



〔質問〕病院経営と保険財政について、医療提供体制の充実が望ましい一方で、その充実が結果として市民負担の増加につながる可能性を市がどの程度認識しているか、負担者と受益者も異なることから、一段引き上げた議論が求められる。病院経営の安定化と保険財政の影響を踏まえ、市の保健事業が健康意識や行動変容につながるという認識しているのか、またその指標をどう整理しているか伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕市民の皆さんが健康で安心した生活が送られることは、自分自身の

幸せだけでなく、医療費の増加を防ぎ、若い世代の保険料の負担を軽くすることにつながる。同時に、病院が安定して医療を提供できる基盤にもなる。今後第一予防の促進を行なっていく。

〔質問〕病院経営の収益性向上と、国民健康保険税率抑制のトレードオフや将来の人口減少を踏まえ、公立刈田綜合病院にどのような経営スタンスを求めているのか伺う。

〔答弁〕〔村上副市長〕医療提供体制の充実が医療費の動向に影響を与える一方、税率は医療費のみで決まるものではない。必要な医療を確保しつつ、重症化予防の推進などにより、医療費の伸びの適正化を図ることが重要であると

認識している。

〔質問〕国民健康保険財政の構造的課題と保険税率の認識について、国民健康保険財政における「高齢化」「被保険者数の減少」「医療の高度化」といった構造的要因が続く限り、保険税率の引き上げが避けられないという認識なのか伺う。

〔答弁〕〔村上副市長〕国民健康保険財政については、制度として課題があると受けとめている。一方で、現時点で将来にわたり「引き上げが避けられない」と断定することは難しい。特定健診受診率の向上や重症化予防などの保健事業を着実に進めるとともに、必要に応じて国・県に対して財政支援や制度の改善を求めている。

その他の質問

◎ふるさと納税及び企業版ふるさと納税について

各種緊急事態発生時の市役所職員体制構築について

大森 貴之



〔答弁〕危機管理課長

〔質問〕自然災害発生時の対応マニュアルについて、担当内容に従った人員の配置は明確なのか伺う。

〔答弁〕危機管理課長 市長を中心に災害体制を敷いて、参集範囲等を明確に規定し、職員を配置している。

〔質問〕担当に着手できない職員は代務者は明確なのかを伺う。

〔答弁〕危機管理課長 参集した職員の中からその施設における総括指揮命令者や、補佐などを選定し対応することとしている。

〔質問〕マニュアルの継承、教育はどのように行なっているのかを伺う。

〔質問〕農林課におけるクマ対策の人員体制を

伺う。

〔答弁〕市長 令和8年1月から、農林課林業振興係に2人加配し、被害防止対策に当たっている。

〔質問〕クマ対策における、農林課と危機管理課の連携を伺う。

〔答弁〕市長 本市のクマ対策の主担当は農林課だが、環境問題に起因する対策は環境課、防犯に関する対策は危機管理課との連携が必要となることから関係課において情報共有や体制に関する検討を行なっている。

〔質問〕役割分担と人員の配置見直しはいつ行われるのか伺う。

〔答弁〕危機管理課長 毎年4月の人事異動の発表後速やかに行い、毎年の白石市総合防災訓練で行動確認を行なっている。

〔質問〕クマ対策の窓口がなぜ危機管理課ではなかったのか伺う。

〔答弁〕市長 緊急銃猟の体制整備、捕獲計画の作成、誘引木の伐採対応など、農林課職員が役割分担を行い対応に当たっている。

〔質問〕農林課におけるクマ対策の人員体制を

農林課職員だけで対応困難な場合は、全庁的な応援体制を構築し、対応に当たっていききたい。

「選ばれ、住み続けられる白石市」への政策について

村上 由紀



析している。

〔質問〕公立刈田総合病院の夜間や救急時の小児医療体制の課題と方向性を伺う。

〔答弁〕健康推進課長 昨年12月末、本市の人口は3万人を下回った。市民は市のためにできることを懸命に取り組んでいる。だからこそ「住み続けたい、選びたい」と思われる日常の満足度を高める市政が必要と考える。

〔質問〕3万人割れの要因を構造的にどう捉えているか伺う。

〔答弁〕企画政策課長 令和2年12月からこの5年間で3100人、人口の約1割の減少となる。出生者数の推移は令和4年度104人、本年度は70人程度となる見込み。20代から30代の若年層を中心に転出超過が続いており、この影響が急速な少子化の進行の二因と分

析している。

〔質問〕JR白石駅と白石蔵王駅のアクセスの評価と改善について伺う。

〔答弁〕まちづくり推進課長 バスの運行本数は十分確保されている。両駅専用のバス時刻表の内容を見直し、停留所付近への掲示や市のホームページで発信し、利便性向上を図っていききたい。
〔質問〕市民バス運用とデマンド交通への転換、併用について
〔答弁〕市長 市民バスは利用者の減少と財政負担の増加が続き、地域全体の交通ネットワークの再構築が必要と捉えている。多様な交通モードの導入も検討し実情に合った地域交通ネットワークの形成に努めていきたい。
〔質問〕公共交通と一体で、公共施設配置等長期計画のビジョンを早期に示すべきではないのか、見解を伺う。
〔答弁〕市長 公共交通や公共施設の整備を相互に連携することで相乗効果を図るとともに、小中学校再編の基本方針を確認後に、公共施設の将来像を作っていくことが効果的であると考えている。

人事

2月定例会において、次の通り
選任・推薦することに同意しました。

【固定資産評価審査委員会委員】

(任期…令和8年3月27日)
令和11年3月26日)

遠藤 信利 氏

村上 文男 氏

阿部 明子 氏

【人権擁護委員】

(任期…令和8年7月1日)
令和11年6月30日)

岡 智恵子 氏

議会を傍聴してみませんか？

氏名・住所の記入など、簡単な手続きで傍聴ができます。また会議の様子は「インターネット中継」や「録画配信」を行っております。ぜひ、スマートフォンやパソコンなどをご覧ください。

※録画配信は、ライブ配信終了後おおむね5日後(土日・祝日を除く)からご覧いただけます。

(2月定例会)

- 傍聴者のべ人数 ……………17人
- ライブ配信視聴回数 ……………684回
- 録画視聴回数 ……………375回



インターネット中継



傍聴のしかた

市民との意見交換会を開催しました

3月15日(日)、白石市中央公民館で「私たち市民が考えるまちづくり」をテーマに、市民の皆さんとワークショップを行いました。詳しい内容は、市議会ホームページ(5月中旬)や次号の議会だよりをご覧ください。

◆◆◆ 令和7年 議会の活動状況 ◆◆◆

令和7年は、4回の定例会(2月・6月・9月・12月)が開催されました。その概要は次のとおりです。

◎議会の開催状況

会議名	招集回数	会期日数
定例会	4回	73日
臨時会	0回	0日

◎提出議案の状況

[単位：件]

市長提案議案							
条例	予算	人事	契約	専決	決算	その他	計
24	31	2	3	13	3	12	88

会議名	開催日数	会議名	開催日数	
本会議	20日	特別委員会 予算審査	3日	
		決算審査	3日	
議会運営委員会	16日	委員会等 議会広報委員会	9日	
常任委員会	総務産業建設	6日	議会改革推進会議	2日
	厚生文教	10日	政策企画調整会議	8日

議員提案議案				
条例	意見書	決議	その他	計
2	0	0	0	2

請願
0

◎議案等の議決状況

[単位：件]

原案可決	同意	認定	承認	採択	不採択	否決	計
71	2	2	13	0	0	2	90

◎議会の傍聴者数

男	女	計
53人	44人	97人

議会広報委員会 委員

委員長 四 龍 英 夫
副委員長 村 上 由 紀
委員 角 張 大 治
委員 佐 藤 龍 彦
委員 高 子 秀 明
委員 大 森 貴 之
委員 佐 久 間 順 子
委員 大 内 卓 也

議会広報委員会

角 張 大 治

結果として、特定の集団に受益や負担が集中していないでしょうか。現状を把握し将来を見据えた適切な利害調整に資するよう、市民の皆さまには引き続き、議会と行政を厳しく監視していただきませうようお願いいたします。

編集後記

今定例会で審議された令和8年度一般会計の当初予算は210億円を超える白石市政最大規模の予算となりました。しかし、予算規模が大きいため、そのまま市民福祉の向上につながるものはありません。私たち一人ひとり、行政サービスの受益者であると同時に負担者でもあります。